

Vol.06 ドリップバッグホルダー

ちょっと一息つきたいときに、手ごろで美味しいドリップコーヒー。袋を開けた瞬間にふわっと漂う香りを確認して、カップにセット。お湯を注いだら、湯気から香るアロマがまたいい。焦らず、ゆっくりお湯をいれろと…あ〜やっぱバッグが浸かってしまった。雑味が出てしまい、せっかくの香りや風味が台無しになる…そんな経験ありませんか？市販のステンレス製スタンドはあるものの、どこか無機質で味気ない。ということで、コーヒー好きのデザイナーが「紙製コーヒードリップホルダー」を作っちゃいました。

さまざまな市販ドリップバッグを使って、バッグをセットする最適なホルダーの位置とサイズを調整。スタンド部分を台形にすることで安定性とコンパクト化を両立しました。セット部分がカップに覆われることで、蒸らし効果も期待できます。

用紙はお菓子の台紙や間仕切り、ケーキ等の内箱にも使用される板紙「ブラウン耐水」を使用。水や油を防いでくれるそうなので、濡れたり湯気が当たったりしても、すぐに破れてしまふ心配不要！未晒しクラフトパルプ（漂白工程で使用する化学薬品を最小限に抑えた、環境負荷の低い素材）が使われているので環境にも配慮。ほんのりコーヒーマットっぽい地色を生かし、また、紙ならではの「組み立てる楽しさ」を加え、おしゃやかなデザインになりました。

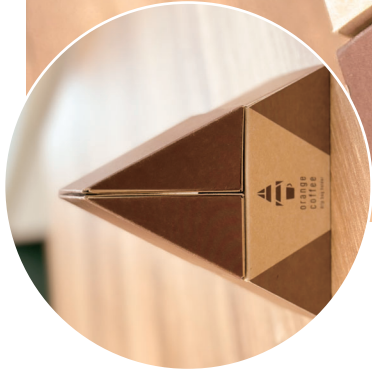
「台形だとフィナンシェのような見た目でかわいいと思ったが、もう工夫して羽根を付けてみた」とデザイナー。使用後、折たたいたむと三角形に。まるでテントのような見た目がとってもキュート！テーブルやキッチンカウンターに置いてインテリアの一部になります。また、説明書がなくても誰でもすぐに利用できるよう、ホルダーの側面にカップにセットする手順をデザインとしてあしらっています。



▲お湯をいれるときにドリップバッグが浸からないよう設計



▲使い方をイラストで表記。クラフトパルプのやさしい風合いにも注目



ちよとしたインテリアにも



用紙：機能性板紙ブラウンシリーズ「ブラウン耐水」<31.0 kg>

加工：カッティングプロッターによる抜き、スジ入れ

色数：4c/0c

印刷機械：B1判UVオフセット
他：未晒しクラフトパルプ（漂白工程で使用する化学薬品を最小限に抑えた、環境負荷の低い原料）使用

